門部門に動員(四)文科系學生は交通、 産、醫學、藥學關係の學生はそれぞれ專 地域的集團配置を行ふ(三)其他農林、水

通信、食糧増産へ(五)師範學校在籍者

そ、尙作達休憩時間、休日等あら

・・一交替制による深夜(午後十

台は道跡時間に被

對しては受人間に於て『朝鮮觀

状況に留意し疾病薬故の防止に

況に関じ前項の時間は過度

生產戰

受入側に共漫施設あるとき伝える。最期に動員せらるる場体に

十時間(休憩等の時間を含む)

(3) 昼徒の保健、衛生教師に胸

こととし受人側はさに協力する

使各人に對する修務の報酬に非

適すること、但し無酷料は一食治費とは受入側に於て實費を負

期すること、身體檢査の影動勢養鞭の一間的取扱の影

償 旦つ一般従署員と

第2の往復族費(三等料金、

**智汩中は時に保聞、際生、** 

付すること

(3) 除員の父母、妻子の死亡(危

費は別途指示に従ひ受入側に於

李道智、旅費其の他必要なる經

李道智、旅費其の他必要なる經

(3)宿泊中は特に保健、衛生、

2.000銀入 1000銀入

東

八、其の他

は報告を勝するものなること (6) 開催機器杆及び割は報償組に其の收支明細器を浸信すると

南方へ挺身する人々へ新 亜 細 亜 小 論 異常論 カルコ 川 明 増 小 論 異常論 カルコ 川 八 論 異常論

即線は遊園頭任政聯員之を贈出

(5) 報酬辦法每年一月及び六

稻米増産の方策 智藤 日本野島社園 よる川田大真関門八六

らしむること

日本飼料一

經濟の構造

どかける原律の生活

報度は基本報度及び特別報

東北原置資土技融資之に恰る)風能に對する宿泊時の生活

カレ災害防止に努むること (2) 除員の完全政策を徹底せし 

(1) 受入側は近に規定の動物 四、教育訓練と協力

展徒の教育訓練に選擇なから解し派遣責任教験員と協力の

機十三面-假定月クー 酸十二面-金額共造級方地 (競大金面定配一) 一三目丁一酒平太潔中府城京 赴機日城京 社會教育 所行費 平 太 宮 高 人行門家情報 即 即 即 即 即 即

0英之咳

應用必報

を用す作業場所を分つ場合には

するも作業に慣熟せざる期間はその大概は一般企業員と同僚と

八、宿泊其他の設備

九、食事其他の給與

宿舍 二〇人尺付水便所一

1 食物学は一般従連絡と振わ

(五)受人側は毎月一定期日にお

七、災害防止、疾病へ

豫防、災害疾病措置

段階不完全なるか又は有罪な一次客防止設備を完全ならし

員の場合は必ず女子専用宿舍にして収容すること、特に女子除

手袋等)は出來得れば現物支給類(作箋衣、作業期、地下足袋

定期符を購入し交付することに別名を購入し交付すること

性り身體検査を展開する場合は

(2) 學徒をして常に生露の開家

身帯会、揺忠岩殿の至勝を傾倒 態官に関し一般従業者と協力ー的試験を自慢し暴徒劉勞動員の

六宿

泪

(4) 経営は歴史を対解説の特別

時太郎者

際法院 論。

(1) 福油的 教育員附近

派の上宿治すること

(3) 機員死亡其の他重大な急事 故は商と除置百額及び父兄に報 告すること

向残餘ある場合は差にり 趣力除長助員邸にこを条付じ

数略員の指示に從ひ周刊なる措

(1) 陰間の安全教育を徹底する と共に常に作業指導者と協力し 次等防止に努むること (2) 常に国産の観察社の他小身

(3) 削断の經過を投除し残餘め

る場合な別表の標準により感役

ジェヴォンズ 一小 泉 信 三藤

經濟學の理論

統四係

制馬

程 濟 論

災害疾病措置

(2) 動勢期間中に対ける帰地 投票得其の他教育上単位より権収 収予る帰程は退債金中より検収 以得る原備に近て之を侵収する こと

H

本評論址

新刊

大月下旬——

防止、疾病療

收容し且つ女子に必要なる施設

派費責任教験質別派の上一階と

に記み合せ分類

## 専攻學科を考慮し に動物するととなるので、資質的卒業級上である 校學門專學大

勤勞動員出 動要領

**大學專門學校** 

理科茅學生生徒

●年代動者は約三五〇名に 第二関係

鹿、農業土木、家裔の増殖及び

| 原林 第| 原年(本語原年)

動員置施要調にり単位終忠の一挙徒励員非常指置に基づく単位

関すべき作業に関して詳細なる。要なる最少限度としょう験の配

機能を蒸く疑説し去ったわが中支一般を開始し、廿三日夕頭に場換線

殿を攻略した中央総関部隊はわず即ち去る十八日長沙南方の株州圏

力師は脳を衝かれて極度に混乱し

(新爆東北七十キロ) を完全

餘職を保ちつつあった范東佐身軍「河西岸渡衛閥家口に進隊、十八日

日までに収めたる販果つぎの通り

を展開中のわが横線脂部隊が廿六

関地西北十キロの地間でおいて破

の減剰な抵抗を挑除しつく十九日

九四、伊藤五〇〇名、魔徒品

わが方に収容せる政化圏一、一

朝には周辺口を攻略、さらに南渡

日夜半を押して駆戦の火蓋を切っ 司会東沿衛)然一萬に搬し十六 漢線以東新黄河々畔地區において

所に敗戦を帰蕩中であつたが、京

果を擴大、また〇〇、田中各部際

名新)に對し六月中旬以降療滅歌

は〇〇快速部隊の協力の下に続い

作戦企画ではかりかね湖南人端の

る嫉妒然の問題を動く向いて勇強一般なは時間の問題となった。

飛行場破壊作業を開始し今やその

大陸の機能に確つた任安米空軍の

U

と發表

「海口廿六日间盟」わか陸軍部隊

れた

関すらしつく・大人日間早くも投稿・十キロ)を占領レ日下的権害が中 「関すらしつく・大人日間早くも投稿・十キロ)を占領レ日下的権害が中

どる敷

〇〇、経統二八、元の記載帳は

域ならびにラウラウ方面丘野地帯

灣口海軍報道部發表

霧 間の水路制壓

前の膨脹にある

2、一人の中央の第一面、対象十一段がした。 一日の総には発き、東海南線が外に 2日の総には発き、東海南線が外に

河、阪所に協調な数の抵抗を挑しき廿二日樹水泥をく沫水を奇勝被

を示などに関するためららには、「これの時代大日同盟」 再年山池 物方の住外に関するためららには、「は時日電源を関わた時からう、観光によくる。」 は、日電源を関わた時かをもつ 観光の性がある。 てくらに激活をあれた時かをもつ

保・たわが海蛇路部成はその後駆(決勝南東=キロ)に淡入して町場が上へ日間図)今次河南にの後駆(決勝南東=キロ)を攻断、合い南郷をつづけて十日には西郷・古

第七里四ケ師に過ぎず、わが精鋭 始したが他の衝陽防衛軍は弾かど

| 陸上による食機測器が困難と

のちはじめて反撃を耐みるで一時期が開の山岳地群に突入し

萬を粉碎

河南省南部で殲滅戰

縣完 全占領

忽ち朱夢を贈り廿一日衛山を扱

沙を中心とする厳秀力配置防衛間(約2歳~する紫色海破治など高額) 極陽域がどの認識、今今市南郊人 7部間前接转道派員十四日税 1 長 作戦軍は敗廃の極端に丁寅りの縁)の累観で在安空前の即継ば勘さる

我が精鋭郊外に殺到

(2) 協力申請(請求) は難に必

側の希望を整的して之をなすと

記載事決級の現段時に終み

農林、水産關係

第一方

針

受入側の措置

要綱

衡陽陷落迫る

第100年(在第10年) 计编制 文科系學生生徒 師範學校 多数に上れる智門に能力量者向

関に遺傷なきを押すると共に高して一)同一學校和力族の候員は成しの基準助検本部に押する独議を定言を開知敬託をしか其の取投機 一八、動務 「築を以て順員の基本部貸用に本州 に對し強的學校終力験協力の趣

號を以て動員の基本制領的に本村 八日間今第四十三派及び第四十四

現徒に就では本村関係局職長及び逐次動員置雇中であるが其の他の

七月一日より實施 **酸製造工場、網際、販売局工** 

する設備、その他必要なる事項が、特に機械に要数約限その他勤勞條件、復奮の事約限をの他勤勞條件、復奮の 等に崩する動勢管理上の指導的に 薬時間、休憩、休日、危害防止 薬時間、休憩、休日、危害防止

生活に関れしむるやう指導を行動を関すると、関しているというに、対しているというに、対しているというに対しているというに対しているというというというというというというというというというというというというという 関なに関じ出來得る限り

學徒動員に関しては本年四月廿

き関節に種へ押料系学の選集にあ

りては卒業後の既職と読み合体也

日揚其の他劉勢協力に関する精・十第の 質任教育員之を行ふものとし受 (5) 女子殿師及び晩陰に之を観せざっ 夢年以下聯併に割しては削弱の 夢年以下聯併に割しては削弱の 學 新勤勞態勢確立 體を顯

世記し 耐定し 耐き屋校との 連絡に は

5)域島の死亡共の他軍大なる事

**愛年在郷害は各工場織山へ分配は、し卒業後も可及的と同聴場** 

上り、文字領り恩徒の、決較終動員である、なほ理工科系第三 緊急を要する生産部国への動員學徒は二千八百名に

音、管照または臨時の約期を支

部練、修養、娛樂、休養の殷謝 意の場合は必ず女子専用とする

作業場五〇人と付入便所一・二十一の決況、勤労期間に限じ一般に関する。

動徒學中田 談長部本員 こ就会宣誓事を趣徒動勞動員の活

方針

の種類、内容等に付援備知識をして出動すべき酸量に對し作業

力之

受入側をして完切に症疹に重いにしずると共に動物的力期間中にしずると共に動物的力期間中にしずると共に動物的力期間中に致調益を対して受入側と原住達

第三集日本傳承黨話集

帝國學士院推薦

沼

學校側の

措置要綱

し得るものとす し得るものとす

受入側に於て本型網によるこ

三附則

て貨場すること

困難なる事間ある場合に於ては

**□別其の他横岬指郷並に身分上(一) 副徒の出峡、動意、土壌の** 

現

めた、は名意用導動に各國際屋夜一小季員會を組織し具作用出動 各種の中等<br />
製を生徒、<br />
國民政権<br />
であることとなった

事攻壓科を表域の上数に文理科系 金銭に連絡、其の協力を得て各 観問館々軍大を加ふるの秋、

|現場を表しているのでは、一般のである。 側指摘を終し頭に「同學校側指摘 計造が左阳の如く決定を見ると共 機能質配をなるしめ以て学園に る新動物態態の確立に資せん

的制質展開を見てある 製な工場、事業場等に既に積極 関策完全の動員に関しては各道 機をして平素修練の成果を發揮し 大東正戦争決戦の現段階に係み

田田 のた、前谷部州北部に名園館を 東京 大田 のた。 東

第二要領

(1) 原校総力隊の出勤下命あり

(・) 學修長は山動に際し派遣書 任敬職員並に補助敬職員を測定

學徒動員實施契約に依り創在器學能助員非常措置契約に払っく 意を行ふこと 吸症を實施し出動の適舌、

としいるやう指摘する

米新大使着任ンは五日ボリビヤ駐剳「リスボ

世三日ボリビヤ國軍命政府を承認。

書館 三一町松久・陽本日・京東 んせまひ汲取文注画 接順

したが、之に作び新ポリビア駐部

(3) 脚関船を置いてに作

のなるにつき派遣階圧数期負付

利防予氣物が強

大明と協議の上東信に印した受入明と協議の上東信に印した。
対別による協議の上東信に印した受入明信職の出東信に印した。
で入明信職の出東信に印した。
で入明信職の出東信にのよう。

的取扱の適正を期すること の結果に残づく動勢整體の一體

七月下旬新刊、全館語は江海橋川宮記途線海路商資金 金種の一つで、卅年保証が日本際水馬店の路を減び 民族、蘇崎の実しく。正して、新樹を買く、本学は末州町の代表的電話「上語を 裸婦部と買く、本学は末州町の代表的電話「上語を 裸婦部と噂ぎ ざめだらうで、

際語の人も知識更新で図って・二・二、際語の「線測下泉湖」と観り、小穴壁一

(1) 単作の軸号に對する時間は 野ば号人に對する時報の展開に 野ば号人に對する時報の展開に 七、報信経理となるとと

ローリンは同日ラベスに輩出した 米爾代理大阪エドワード・マツク

斯夫爾 原板上り後刻。加滕咄害擊克 入西爾 原板上り後刻。加滕咄害擊克

房

前河の歌、河南省南部に絵階を保 ちつくあつた治療経身等(司合陳 【即州廿六日同盟】京漢線以頂新 敵失二千七百 廿六日迄の戦果 アスリント競行場の使用を拘束し てある の土質は旺盛を極め散闘を懸行し 敵陣地を連爆 困難なる状況下とおいてわい将兵をは破御兵軍地や無難するなど

カン情勢の経済に盛みイスタンプ

ール死職ートルコ政府はバル

教學練成

六月號

【ブタベスト廿五日問題】イスタ

トルコの戒嚴令延長

殿令を行いてゐたが、甘五日政府

實卒檢定試験特輯號

系統 黑月社 界 驗 受 恩 慶和縣

ールおよびトラキで明ガー際に歌

舟艇群に必中彈 延程する<br />
西陸器した 報をもつて古らにこれを六ケ月

縁返してゐるが、廿五日には問題 【中部太平洋基地廿六日同盟】サ 「リスポン廿五日同盟」アンマ 國政府に優遇を提出、英國がトラ 死魔=トランスヨルダン政権は英 ダンの獨立を拒否 英、トランスヨル 

**滞務官はつぎの預り室明したとい** この要求を拒絶し同地の英國高等 するやう要求したが、英國政府は リヤ、イラクと同等の獨立を許容 ンスヨルダンと対しレバノン、シ

大阪ビル・受職・野戦内受験界線合通信添削・東京戦町県内部町二ノー受験界線合通信添削・ で造る六銭切手封入の上申込あれ)で造る六銭切手封入の上席別指導を揮す、青鬢低順内容光度・の上深別指導を揮す、青鬢低順内容光度・のと深別指導を揮す。

敵に大波亂を

邦評論

·論石田

重慶よ!改むるなら今だ 思想決戰委 (香絲組)

概にしつくあるが、既皆と共に

歌の上、これに猛攻を加へて敗艦 上を整整した外、敵権動部隊を

2条 こくと隣の発派なる物みと無器と

級特長のみに振るのは、飲後の大

た首葉ではあるが、戦極の功を前の民の眼前に展開して來た。音響

答前ともいってき有力な

暴症の動勢励員については、既 學徒勤勞動員

がある。即ち、空人側も夢を側も

事業場等の労務不足を興徒によう

技術的とは一般体製質に敬へられ

る點があるとしても、先づその政 ことが出來る謎であるが、學徒は

て確なが如き歯骨を破に売める要 とないのながら、いはゆる工場、

の歌唱において、歌大なる祖書

りなからも、棘物且ひを押し

当は個へてゐる。

の一類に膨敗を決せんとの野鼠に る機動部隊が、マリアナ問題に運

に四月廿八日の結今を以て、その 風色の春日のを配と跡が町教育の まの歌歌が決定してみるが、風間が 選応に生かするとには固さ述くことです。 大郎 選応に生かするとには固さ述くことでする。 大郎 はんしょう こうこう

でリアナ酸解をめぐる戦闘はい

苛烈の戰ひ 日夜つゞく

な

壁せしめてある以上、<br />
これが補給

数数減への大きな目標が、われ等 て経後一版的胞はそれぐ職域に

際の真姿を崩現せしむるのが本旨

こと、報信の遊も考慮されてゐる

口海域報道部より左の如く秘表さするに至った、右につき廿六日減

**國五九名** 國五九名 我有機關係三級、機能還分六一

は、日本語大学生産 サイベン島にお サイベン島にお サイベン島にお サイベン島にお サイベン島にお

を続けつくあり廿四日夜現在なほ

好機を縁起して駆は出来或は笹身 後方をるタボージョ山(標高四日

上四メートル)の線を保持し、

日本航空部隊がサイパン院の米 【リスポンサ・六日間盟】ニミツ

月廿六日)合設左の難り競合さら

長に吉本大佐の製金

流へをおりまと

れたけ

八日の公報をもつて

ガラパン市街の大部分、同島の最一院の権人、さらに他権などにより

死師若で生ぜしめたこと概要した

部隊はこれを強へ決職に次ぐ決闘

飛行場使用を拘束

漢文整勝以來徹に封鎖されてあた 州、長沙間の水路は路を完了、町

のであるから、筋身整公する単征

写回のこの指数は、脳症をして

1199日旅館者の理解協同により、

れば海漢線飛びに一路南下中の日

振鳴三キロの地脈に肉無した あるが、廿六日での最先縁部隊は

> 展開中のわが海軍場子工部隊は作 が刑江を繋ぐ長沙公路削減に駆った。

開始一次一として早くも田

K

に城中の 塔國海軍部隊は六月

行大日午後三時)長か公路

大軍

と激闘

が、敵の防禦億火は漸次帰至りつ

はれる

今はトランスヨルダンの獨立問

の破陣地、その他級の軍幣品集領 の破陣地とアスリート飛行場附近

28

後まで延期されねばならないからこれに関する統合は東

敵、損害を認む

脚隊もり、本作戦とおける蘇合戦

金軍は終え衝陽外郭と談到しつく 【展集廿六日同盟】「東側放差によ

であつて、生産財弱に接種的貢献

をいるとでは前にしてあるとしては、同等他就なく参加する

約二ヶ師の兵力をサイバン間に上とを認むせねばならぬ。既に敗は

(2) 職員中国校側との運絡者を要削連絡を行ふこと るときは自じ県校常局と整治に

るものをすら出してゐる。また既することも出來ず、さればとて、 官権の敵闘的ましく、未だ損らざをある際に行かず、また見殺しに 社

說

野に敵空母難を求めてこれに至近空中戦を脱跡、敵の十五後を眩眩

に相関する程度のもの名間位と

に設定機能が設計セナルを以て大宮、辺光関が繰り限げられ、前級に括

職する監察格丘は、軍に叩みどろ

になって続ってあること、東京大

ることは考されない。一覧は るるが、我々はそれなりて安地す

ては、「別、一教科別、開催別名

労動員の腐骸な質量的に恐想的に

整義することによって、勝利への

ときれてはならは。

遵正に生かすことに<br />
版目や<br />
極くこ<br />
に<br />
領意して、<br />
勇全の<br />
成果を<br />
繋げね

方面に関しては機器、防機のこと 持し、特と國防施設事が、軍職保

盟」前院ロイター特派員は糾関の

大化を認む

廿六昌

りである

宮 大 **タ** ロ プツヤ

**基**提六局 盟」サイバン

ガー デッゼに計画日末的から イーデッタ 回盟コマージャル航時ウ 日曜の本金建議員で八日

カラ所在の際はとれる受験をして、のか方のの記述は歌呼であった 日午後の開発に 関連性権 愛麗選挙 日午後の開発に 日午後の開発に

難烈化の一線を辿ってゐるが、世間を暮る中部太平洋探域の歌品は、

六機が突襲したが、わが所在部院

確認にかけ独国と同じ戦略版機士

來事、またロタ風には艦艇機元十

一度した、わが方機がなし

○●異優先頒布、●別認品要干七銭◆

(外務省・情報局外期密修)

東京都京橋區本州町二ノ四

野帯東京一四八七〇五 駅 第 同 志 今

ソロモンに州機來製

五日大宮路に敵艦職機七十四機が

過日までの職 で成めてあるが

百四十機以來襲

消息

丘貂后鳥政課長

利阿尔省丘然尚氏的课度原因或名 随用大佐 · 吉本 精第

#K-14

蔣は○○人の人力とセメントと 川、第川、定州等の沃野部らな界秀郎は、紫緑、疾州の大陸町工、然ニークスの大きな脈があり組 生産戦に備っ 帝 麗 麗 園 正 光



の甘里の地帯だ、ことはゆるや かな丘陵の河らぶる美しい工業 歌をも加へて称に見る情報な工 地帯としての難つた地相を具へ とはほどは選ば、北安の地下衛 て概らなくなった純緑江の水道

見だものなどは一人もない、この

おきたいのは総州から多種略へ それにも増して是非常介して

力の資を概ね豫定の通り結んで、ろに硫極用の振鉛が駅。に運転等時間ソロモン減速は工芸と第一宮にして陰氣工事の起ったとと

人東亜版に脚せ物じてある、江 され作用と密題の<br />
際口の間に大

一ム、マグネシニム、無水溶構、せて解練な水気の配力は文字通

り祭踊しいものがある電気の概

く道路で、芸電線を工業用水路 に整備して次の生産機にも確く 理例で、推動を、概算を表 前大戦當時と非常し異

配にはペルリンにあり今度の減事! 次大 にはローマにるたコツクの一邦人 前の大戦の最中にはベルリンで 物がなくて町を彷徨してゐたら さることが人々の間に優かこんで である。時期からいへば合年には 空襲の強威と聴うればじめてから 從つて、集開は直接空機と結び

に使用し、腐敗沈滯の事道を聴か

戦國においてもその他の交践國政経濟の分野については歐洲交 次に自分の研究を命むられる財

この意味においてドイツの味暖の

としてるというれに世上れて 

ツが英米ン三國と最後年で既の放 く供意をもつてあることは難ひ得 理解する傾きがあつた。 公田は野には経り、歌門金を出、

古七日朝宗路東二、古五日間の豫を行豫算案祈酬等豫類事務のため 軒毎に白兵戦

竹里陽落解、巡洋縣各集集に若

てある

日外務省において、配表面と質見、即邦爾伊

の現状や説明すると共に、安定せる國民生活

全然敗北してを行ず、ポーランド、ツはイタリヤと辿って変異的には

ハルト三國フランスでの他バルカ

ソの情熱は全く舞つてある。ドイ あたのであるが、それに比し下イ 指導者の腐敗など駆像性が置って

つて來る解析を除去することに一挙政策整行に借つて必然的に起

切符をもつてある者が異へないな

燃が開始になってあるためであり

戦争に勝つための方策

見られない、これは「無給制度の速 機政策は成功してかり、ドイツに

は全然インフレーションの各機は

致團結

没し大型輸送船一隻は条箭に觸れて物 與へてある

七十十二人教養物組二 兆候なし **交戰停止** 反樞軸軍言明

無を破壊した 残場様に 日間 印に とおよびその例外に関「「プスポーナス日間盟」ロンドン。イマキライン中期間下のドイツ機

功效

#デフリカの御士芸術を製売し、富丘殿力の對立、一郎ファシスト館とイタリヤ は脱酸を重ねた。さらに個内的にはファシスト館と

「結してゐる、家をナテス難は歌

イツ國民は上機械のもとこ

せんとずるものは一人もなく、ド

間に最終から見触されたのに比し

ドイツには上継続の音動を妨害

巾街地遂に

放手中

開し苦言を悪いな べきことを駆けぬと する日まで戦い扱く 共同の敵米英を職滅

【京都一加切大阪】

一・チリー地路では反脳難望が有 たいアール市の概念で到達し 力部隊を与って攻勢を開始し回

南は甘四日八倍以降反極軸軍の手

ンサスは同盟」援軍監局一等な搬兵力のため後に駆倒された一

獨軍最後の一

彈迄死鬪

中に表

(ベルリンサ六日同盟)の選挙書語

ある

江日兵職の入ら数十名の劉兵は後一 一般に至るまで同市を防衛、散烈を一蹴した。周軍守備隊は、最後の

シエルブール要塞と外界との連絡 が側たれる直前シェルブール要塞 行館隊の情径の無常は次の通りで



乘尺

は編選軍守崎隊がシエルブール港

の質別策率施設および搭線施設の

一切を暗機した。日六日登美した

「ベルソンサ六日同盟」甘五日の

- 機器院は六月世 | 日過医三次年 シ甘田日間開】ンドエー

七百萬龗

ビニート特制局の衝影は完全ない。

歌に出て今や撃働ミンスを前間三

能が襲化すると赤質性ピヤジマ 月廿一日までに獨軍の得た宗軍 6. 医育世 たのは戦争和一年目であり 年1週年5

三年一月一日には獨軍に収容さ ŋ

いても顕領で開除は米國軍の一切 に位属するデニ・ルール製物にお

外郷地區の攻切配は今後も暫く細の攻撃を粉砕した、シエルブール

機の特別な際は廿四日夜オルス河

學 题 图 更

軍はオルジ河口か合で上陸勝四 寒を解沈、砲艦三要を炎し立し **職透腦一隻を六破、更ご沿岸砲** 

【ベルリン廿六日同盟】羅萬文章

同夜爛快速駆撃はセース最大で

**反樞軸艦隊に大損害與ふ** 

【ベルソン廿五日同盟】藤統大本

タン学歴北東部ならびにジョブー

ル半層は依然獨撲の手に確保され DNBの前線報道によればコタン

整備員選に添られて一路決戦場へ(大平洋〇〇基地にて)

**吳崎報道班登後影,海里省町可磨第一六號—動送** 

供出超過を加算

・ 職を担へた婦人が任復士八里の れぬ、中には原か・ 質、三世の ころ 左様は傾向は 全然邸めら

際には都質局の良き指導が興って一

報集に機協の協力

このもあつて深ぐまし

な。即ちが作名のなかには

する影響についても取なる機物特 また生産責任制と表裏の関係をた

問備寄の徹底、推薦共同顧客の では、空間が回接が見の記憶は 者の選別決定は、従來部第万至 「桑夷、勢力等を勘案して個人

に個人の三敗に分けて配施してお

がいけばら野が神神神の母母国の

力めることが見ますわけとはゆか

REBRIEGEDRERER

すると人作用は、平 せが内向れもがによる戦性で、既然のであれば、海に対 ほどの職は本語の選択の数さと用

同長留極の席上を借り短時間なが 勢絡関旗打合せのため招集中の目 配着は恰も減ぐましい打出機関、

ら直接第一級責任者たる目面長か

特殊権の 河川江で 東であるなびがが、四年によい第一配表は恰も減ぐましい供出業職、不申抗にで表演しる。本地一枚数は一種左右を言う。 涙ぐまもしい仕出報酬

増産重欲唆る新措置に期待

立一部に対目の上京

整理である。木年度

を草いが、一種の供出は種類 

生命責任部署所に対する民心の

昨年迄は個様の配布に際しても

・ 会社で 会社で ・ 合せで ・ 会社で といってゐる、然しかやうな場合

開糸への十類も領別

開道内でも屈指の強

に五ケ所の大阪所は一週間前から

七六十八萬五千の推議を出し 展開中であつた記録は五四日で空 原方に空る二百千口の蔵板で攻撃 部職員のピテンスクからモギレフ 「ストツクホルムは当日問題」中 赤軍進出遲々

さらにボンルイスが東南のロ

で減くために相関 原の酸湯は次の 削煙報道を場合 全ポプルイスク するに至った。 味地を 0



中部地區で激闘 赤軍の突出部擴大 成功した、右の贈加原では目下敵 【ベルリン计五日同盟】 瀬航大本

間の後屋を開始として示した例

不物 意かるが、元次

は勝鎖の決を見る。迄終局をづけ

るものでない以上、勝つとり外は

養婦品を見につけ、手に持つてあ

それで解が我催してあると言い

は廿四日赤塚は横貫の頑弾な抵抗一地酸において突出部を横大するに | 古五日後妻|| 東郷観線中部地區で スク自動車広路・セデブスクの谷|| 「ペポリンド五五日間盟」 勝恵諸島| にも拘らずやギレフ東方スモレン スク自動車公路上ピテプスクの各 て次の油り製製した

概算は中部地區の全職線において 職や出興中である れた赤軍の攻撃に関し場がない歌 有力な戦車、歩兵、空庫に推撃 赤腹はモギレン東方、スモレ 的にを取らせる必要がある。他の人のたくしくのものから、國家 ない、一にも解判、二にも解判。 ぬめを持ちたいとする心理を られぬのだ人勝つには、人の特だ

中間で岩子の効果もない攻撃を、赤軍はポロツクとビスコフの は赤地の攻略は激緩ののお脳滑 燃ゆる炎となって、酸にはない かは然ち帰味と味どる◆我が本土 の資を構へと武器、兵器を装々が

南京

\_8

からである。現代都としては各国一供出版権に影響することが確であったとうても難びなのです。検究技 るが問題はとくできるの一つのこ

制限が担当地震への一因をなして た公面長間氏から開き得などに

で銀指導弾は脚が寂寞ともいへ師は巨下第一級に出征、活躍用 は物の質でもありません。だけは 開めの発育と比べれば自分の発音

でけで耐って那内の併出動ニ英質 して取って下さいと言って差った

目間他の九千一百五個は道より都 世代散型成後の絵刻画の自然消費 出版観を削取してみるものは信間 田心理を最も弱く担く、境理と独 廻るものであって郷自催として寿 節が各面に極端て入るる既任供出 前種に認めたできる。 と加賀すると質問してるのであ 面面の影響に出版が開催を指導 と過言は現在状で作品 な事態現然と共出展観を整る最も てある臓器心理を記念に把へ且つ 大きな関因となってあるのである

を完築せんとする計畫なのである。 画版の大印引とが動物の振気反動器作出のみを以て選よりの機器を一村会翻訳解とり推しても見つまた これは最近における物質情報と概 な呼んであないことが言えても最

ではいる。四日は田の派車帰現の

供出が記すれば状態の概出は無

このことは他の計畫による暴電の

後方との連絡を連続された国士六 本語はビデブスクの機能機関とが 【ベルリン廿六日後周盟】總統大 ビテブスク遮断

き、我なはいつまでもいったり間

いたりしたくない。種ので作

疎開と文化 俴 克 姚娟と大年の書記とは全く書豆

念を押込めてはなったいつである中に、身うごきのいからせまい数

皮肉にも東京都は、ロンドン・

文化の消長などであるのではなるのではなく、表して初音消費

だけで二十数人を貸してある。

欠臨者の解開も、私の知り合び

北は資無際から南は宮川駅に名

勝行語は嚴貧と取締られてなり、

られないことである。この反面といふことはドイツでは絶對に

に死刑をもつて虚しされることに

る間行為が登見されたら回ち

現實はかへつて逆で人口の都市場 きてからのことであったと思るが 頭防國家の確野が日私によるれて といることがあるのに、酢都 れて地方に傾削する者は単伝者で 『大君のへにこそ死なめー』 そのことを整へてか、色字評論 ツツで、インパールで観光しては んがんである。ガタルカナルでアのは数く違いのであつて、その皆 い得てはならでいのである。まし

略を示れると、金万もない方明へ

正と昭和の初期の文明開化流の文 ければならない事情はさろいふ大

化概念が誤ったこるいひ得るので

本文にのありやうを考へれば、根 ひ何といむ、世面の必要がら何は

> 類法の函数と数ひながら範囲しな。 やうに都象文化の選手として、そ えてしまったが、この軍大時期に その質目権の名献をもが失敗した ニューヨーク・り 強かに人口が冷。地方に飲らばってあるのであるが

の育成を腐材、工場など生産場に

はずれて行くのである。

たつた数年前に東市

既主義がら、類の骨骼に目機めた 要であつたので、日本の文化が街

ならば、貧然、重産(工廠をも含

である。白樺派の先人が、たとへ られて行くことを期待出來るの 根は、窓外そこから輻靭に張り続 ならば、野菜の日本文化の大きな 略に続く思ひを致して行動された 勿論であるが、日本文化の質の音 求めることは間深ひであることは

者は、太平の逸民と化する解解者 て間の質がり との意味の微信を述べ、また症 一部の不心得者が勝村に練開し、あらうが、支那大陸に北海に紫灰 勿論そのことならば、さざもりの 大岩のへに死ねないのであらうが

中はそれり探告すく感になっ

と思ばれるが、問題は配給機械 のやうである。 評者の<br />
原著の<br />
原著の<br />
原著の<br />
原料を<br />
越えて<br />
のるか

都に対するさついる風な実がな

されてはあるが、それを戦時下の

生態に立たない文化は既に言思

逆にそれぐ、柴饕を持ち盛へつた

都要文化の意味には失敗しても、

一時的のものとのみ思ってゐては

化には独わされてあるのであるか 事间以上のものが、終來の日本文

あへは一般にかなりあるのであつ

をする以外に生活出来なかった「気軽を吐いてはなられいのである **東京川欧州道及反権職軍監局は廿一** て、さらいふ際に日本の文化指導 意の一人を自任するものが眺めた

職について甘五日次の通り報道し 機特派員はシニルブール市の市街 【ベルリン古五日同盟】口と前 的泛爾為中山泛海峽下金然 甘六日正午一丁前宮ではシエル

六日元年シエルブール戦場に関し

地質における最初の防衛院で大量

シュル・スール

里の間に一進一退の液整確行由一

蔣ウオーレス

共同聲明發表

**監督七十合を整破衙八百合を履** 

◆オルシャ方面 スモルンスク、

盟」軍職策略によれば米副大統領

数次にわたつて脚が石と青見協議

勢日順争の共同遂行を期す

宇宙は経営、イタリア大阪側に入

協能さるべき

大便リネルン氏は廿六日午後一時【層京廿六日同盟】伊國旺龍代理 伊駐華代理大使着任

り斬弾に壮烈な自己職が展開さ 廿六日発表した 際は過程がチリー市を放準した国 【ベルリン廿六日間盟】掘続大本 戰車九百七十 チリー市放棄

ーローニュ神合のグリネヘブーロ

- 二二北方) 近傍の反隔動船間を

◇ビデプスク方面 赤頭はビ

能のためである音を明かにした。 継続各般にわたる米勝間の協定統 ウオーレス來前の目的が野、政、

主義の協調をはかる

では米國民主主義

ウオーレス重要防門の目的従来

五、緩吸電船の通路にな

関協定の締結

富飆田旅作 依卿免本官(各通) ★(全北)道技師守山鼻(咸北)詞

割する米國の援助

雌間は五時まで、一時間にわたりブ

機附近で設置が強烈だといはれ

【ペルソン廿五日同盟】 郷軍館局

のない構像だ、特にオル

オーレス、賭介石共同議明を秘表を重ねつくあつたが、廿四日夜ウ

を とうれた 統に組るが外

總督府辭令

(诺智)

と説明書場品版を東京一七〇二六六番は「仁

**首範表―郷軍の最大口徑長間** 

長距離砲活躍

を撃破鹵獲 獨機甲師團戰果

> 男で字し 鑑し、また同見後

海南町 建多次上

じてゐるが、赤筆は縫深陣地には赤葉が須出部を形成したと軽 進出を置しており、

機構改革

山田理事長再任

がの事務を鑑りた は「工事学

低迷交漫が料補のため習氣

· 旅血吸壓 法通信 於血吸壓法通信 於血吸壓法通信

香統 下制

住宅營團

0

0)

四欧防衛撤留局の営明によればバーベルリン十六日被同盟・ドイツ ベルリン盲爆・バベルン

原の間の関語が流へた 獨空軍スモレ よる興国の頭頭な抵抗を被って

う内部機構改革を行ったが、新機期は宅室側は時間に即用するや

新型に登録し建設がは、また時間的の水基制を とこれなり、また時間的の水基制を とこれなり、また時間的の水基制を とこれなり、また時間の水温制を とこれなり、また時間の水温制を とこれなり、また時間の水温制を

企圖してをり、類側報道は個国 新陣地で精戦中と帰じてある ンスク奇襲

高製立屋、輸送車輛に大出島男師 か投下穴域膜と火災を生ぜしめた 軍後方領艦スモレンスク停車場を 際は廿五日夜白盛暖駅における赤 「ベルリン廿六日同盟」獨字重要原

人間は不思慮に他人の

してあるのは、他人の特をぬ物が 戦その他を完勝なきまでに攻撃 い公徽県と総織出来な 特たぬ物を持らたいた 

鮰

健康の敵

品製材植

薬除驅虫蛔

年 小大人们 外人们

能能

見ている・古物を理生をせたモ

頭味として活かしてある監例と

く、スフの國民服、代用皮の靴、

金原外科病院 院長医博金原將星



男子青壯年募集 || (一) || 可成無整験者たる台のにして同語を 重知器の製造作器 正知器の製造作器

できません。 (3.世界大学・海回家等の別で、3.世界大学・海回家等の別で、3.世界大学・海回家等の別で、1.世界のこと、1.世界のこと、1.世界の日本の一般の関係のよう。

海州·群 職業紹介所

所



京城 支 店

文化だ 

関午修一郎、岩谷師元、大器修、 奥世国際僧勢加海は次の四氏に決定した の通り 石月野日から ◆維路を動ですら与って での調解文人報 二週間島面膜を備すが出品者は次 七月町日から1 ◆郷路馨順では七月一日から約 ◆松志韓解婚詹伽齊を廿七日午

應、高數單、開發的、金雅俊 等級以、金武經、金諾姆、法國 等級以、金武經、金諾姆、法國 等級以、金武經、金諾姆、法國 等級以

臭にんにくの常用 朝鮮理研金屬株式會 房をしまく物體で

ピタミン ーアンプル中三、000單位 輸しく知る方法院はく▼ 今津化 學新 究 m

高血壓 中風の変形を

ん息・

4

學校諸島間の取經め御往文に限り受付申候

つを認識は世名は立、六個月にわどり内地を一合意的と指言と顕著音句談音と専権にと

半島の認識未だし きのふ總督を置んで懇談會 このほど時期した、各派部員の脳の柄にはそうではく行脚し期待以上の成果をおけて会費 の 目でその足でその耳で生々しく 暇得した 常里な監判が溢れこばれる位である。小機和

波田重一中將(田國東) つらその四分の一を半島人が占

して灰き、内地の寄少年の心情ともつて接して欲しいと思想し てゐたが幾外よいのに安心し

報道陣の協力が必要 松本誠氏 常によい影響をもたらしたものと著へる けに彼らのうけた感じも深く非 (限歴)

たである、内地の半島砂路町に協力が絶對に必要であるといふ

よく行伝れてあるが修理は物的数する修築管理は大側において

県民族成は内地側

かのって全張消費を代表し

入つた【電馬―派遣島駅映画

果が魅つたと思ふ、半島の日と連絡を物にしたらょ

らぬ問題である、土産代り 渡邊豐日子氏(九州) く似えることが開射の根本階級

孫積眞六郎氏 (近畿街) ここの部隊でも半島川身着

爆弾恐るに足らず

**~** 8 器

る、欧米英は割り

配口でおくな機能

今後の経験もこの特別のもので、一今回の労働では撤貨運のかった

経験からののことに

防空は防火ご消防の戦ひ

して大栗次の旅客旅送を行ひ金融民防客への總線配を催した 【大阪館話】中部軍〇〇巻隊は廿六日午前七時BKで通じて『北九州空襲の後封』・巌

討檢再の襲空州九北 防空襲銃の完修が一は防空の逆節のため参考となるべ一の空間を行ったのなからく大規模 の機が來源せぬ話 部の人に不恪に

月十八日初を難り來今回は一回目 会一、二に就て述べる、一昨年四

式であつて例へばアメリカ太平

職である、われくいじては他迄

いる失敵を育することにはらぬい

的財而師、機関四頭は耳を雙す

待避 まきとが必要であ

ために特置機を整備さればならぬ

むる。皆つてナボレオンも「順丸

(表にお残し下さい 快らよく減く治る か

は第二を懸けて通ると関映した

し敵の風胸は大爆

て機理に割する無視な恐怖を一掃 置際の威力を形分に展知して壁いる、しかしわれくくは激烈のもつ

マスを関したセファランテンについ ・ でしられつくあるのでを顕著に観聴的に傾用 ・ でしられつくあるのでを顕著に観聴的に傾用 ・ でしられつくあるのでを顕著に側では ・ でしたれつくあるのでを顕著に側では ・ でしたれつくあるのでを顕著に側では ・ でしたりしまった。しかし

開門には一般の場合であったりができる。

導者線成會國防訓練指

きに関する

も解が機関と無実際とを併用し返

れに労働し明な影響を確立せねば

であとく

で来た。今後の容襲の判骸あるひ、十六日に至って再び致て か規模。れを恐怖さしめんと狙ったものと 強があるのだら い全く小規模なものである、変る 一川一門 気味の節歌に入らな一力を意味してあるよりを使用して

機とか二十枚殺とかいふ館がなる

果となる一時間が製作してその政 町の好機を掘へ大学主作機と呼吸 令小規模でもサイバン方面に陸及 空間の運動ですを持つことなどで

今後對日盤阻離空撃を示唆してお

用数ならのになるとは彼の服性一般改めて明朝する。今回の定義の合後の定義が回義、規模なども一般以外のではなって、それではないできない。

的防第一の競びであることをこの

對 這學是你,給

であるが一回とも空間機数は十六一

活動作であり如何にも若類に当 伊達四雄氏 青少年に果してどうがと深く地 へをこの目で見て灰をが半路~ (東北班) 東

るやうだと響んであた、めゝし半島奶粉着はめたかも無難にゐ 埋の良否といるのであるが根本

良好である。北陸方面には廿年の者、単兵とも脈況はいたつて、 (北陸班) 勢

が少かつたが最近は増々と入り

重松實踐部長 (四國強) 内鮮一個気持よくやつてゐる

内地側に生陶配職を求めるのは いた報信を終り小職職権は いた報信を終り小職職権は いた報信を終り小職職権は

以上も定住する者が相信あり、

を受験間以上によいのを開きべ、 変が動物で担心はならぬ、年間参考 素の身勢管理は多のい配して心 変がにがい固を紹介する機構的な 必要であるが頻繁だしても今後

など報酬する、物の施設と併行しないに安心したが、これは内地定いいて見名をおけならいいても多いではなく朝鮮内においても多いに安心したが、これは内地定

力の岩用を第一主義にし併せて一て死亡することはよくくのこと。てはならぬ

に足らない、まつ第一職が命中し

防空区所の興味であることを気礼

局の結果を見て

政治験選集で「國际間報道等意識」成大館」を削いた 三日間京城府東大門電数岩町京建

もつて防空指動に散闘することが 旺盛なる世代機能と攻撃精神とを してこれに映画せられることなく

念天に冲して一見りに接続を極 普名権がして均断を指がした化

の指传院教育に贈る組織を集ねた 一後も各位の協力委闘を担待する と語び午後六時閉四、一同は過度

早くも效果 月四日言で五日間初任の領定である。 小鹿島でのセ

【学师度階】和漢派の新標品とし 一出でた リ、は

さめ、傾付けだ、降雨を待つ

フアランテン

第二日は前日日製館最老だり。 ※日は前日日製館最老だり。 ※日は前日日製館最早に日本日山間、西部、製作があってみを構し。第一においい。 があってみを構し。第一には一位と表行うかのも同じ出てなる 野七日は何とく論演、製修の ほか、製剤法をおいる。 「最級製練を書いる。」 「最級製練を書いる。」

郷に現金を期する計構である 値には特に個用むしめて頻繁所換

屈せぬ突撃魂

でしてあるが、その折ら折、又もや 院の戦野に比絶思師かも実しむ 不識の武功に蔵南幌売らばヶ岩 成異電話】本道ではさぎに殊職一 先駆に対け、上船のなる地蔵を に猛敗を伴めた。け 標部より右唇部に 観射する敵の一弾 **地兵金** 【醫單】百圓時大 飛行機献納基金 本社客託献金

文弘一等民間死の親が北支派道〇 ○部隊○○際長よりの手靴によっ (前的) 自己君は上官は勿職 

さあ、傾付けに突厥だ

い明らとなった以下での文印

では、国際のためで戦力を関連

は田別に先んじて雑局と貼り、 ・ は田別に先んじて雑局と貼り、 → 1000 円 1000 円

吾等の常に威嘆するところでめ

突線だ、用水も偏保し留任 名といめおきも一個と傾付け 概念強せず殿倉年間は男

を一時もい 天師の禁衛 れてあるが 郷まで比し

與4.1元國江原語 2.4年內 與4.1元國江原語 2.4四年 和建議於木林與爾 4.1四年 新國縣所公立國民政府 第四國 (2.1年) 1.1四十一國八十一藝 今月計—1.1四十一國八十一藝

いれきにノ

物・目まび・のぼせ・便秘・る。動脈硬化・悪性皮膚病・腫潜伏慢性病器・胎毒・神経痛





品質純良强力美肌源素 リイフノパノパ 東田 リヤパパ洗顔ケリーム ⑥ 日 ト 粉 白 粉 日 ト 発用ケリーム

土肥慶瀬博士の水銀深土間、 東京西島北京山村 と 東京市村 と 東京市 東京市村 東京市 東京市村 東京市 東京市

全國獎店ニアリ

散图

で、発用用・砂核酸人は、生阿黎一、一次、利用・砂核酸人は、生物の心、一次に強力、 回民会話「あいれの面」 大学の一次学生会社 ではのの人を上のは、 のまのは、 のま 方谋

日本を衝撃調へ、・〇〇水が周号楽・組曲・胡将県人長に平向祭一

プッロ

要工態の活躍なる展開をもつ 野へ直接、**加接と現場する語** 

> 照に影響指微といる大き技術を 就好してあるものないか、既力増 主に各地の土建工事は、瞬日歌に

成100萬0年間

もつて任ずる臨南物での他次版

内地へ

おいて斡旋し、全解各道から網絡

あるが、即当は影響的特許度と 移入跡務語、自由労務者といつ

どのであり、後着はその大学が

なれ、お最近では解釋面と奥

見く完全なる日本研師に関する。川に沿って明ることで、軍長野城一城山殿士を汚ねるがよい、この山

のである。更經道級資格がら天間

分の仕事に不識を抱くものは一度 ちは今は間観山において東とまで

あである、また一晩化炭素も放射

られるので馴れぬ者は十分もあれ

て自分からの将場を見分けるくら の機能、辛にレンカンテラによっ

ころで聞いてある人は幸せです

ののちが心寺田職選山大器師式

の場と代し倒れ、中略)で見り日衝突を浮かべて中略)の月り日衝突が原脈が出場ののため展験場の信も効なく、一次手術を施し一時に自好の一等と高力をが直襲及び原脈が出場の

れの南ばか大野一子、南『兵の後ヤジロウ、キタハチ、歌臨川、何

ル戦局は終に決破中の決戦期にを行び終って決議に入り

炎人し皇國の館替正に版るく

学して佐川雅近氏、紅七を代表し

「南郷一郎氏がそれぐ)共富派院

測器に移り脚解解教を代表して金

により向時も機器がかくり坑天井 の爆解機によって冒度以上の高温

元外から流れ込む冷気との中和

にいけれてある、統領において自

度の敗闘振りに感謝を探げたいも

増産に大きな誇り

感謝の念をもつて一日も

製な場がりをもつ帰金軸に衝滅す 力をなしてあるといっても過ぎで 彼等の終約こそは諸殿商標の原動 第その他を何の野外野外に位配し

にその他工場工質の一部、朝鮮

われの腕、この間で一塊の石炭を含根性をかなぐりまでかわれ

類数雄山脈の中腹に位する古河麓」は天龍川底からなほむ〇〇メート

感謝に撃敵魂の半島勞務者

近00年に攻闘する00名の年

ルの地下に超下げられ綱字根出し

よる智芸機の瞬間は坑内にこだま

政約期限など問題とせぬ、

年の一番に掘身し迷から仇機米延を攻破

と信仰次いで瀬戸知事立つて

東米英な戦闘して関ロに限へ略

新

で一面に最大

(戦明書差里)

着科を全となります。

代理店

10 朝鮮子羅樂品株式會社

基づく宗教仕郷に振りし連かと、
をに述づく総役の決戦生将と戦

物として止まず、著つて宗政信仰の至何

(勝の道は一に國民の勘議部に

て台場を府民館に移した。この日

して野猫に晒へ奉らんことを替つ 大削に服像者干燥名を乗し景敦仕 に先立ら午前人時半から朝鮮神宮 から京城府民館で開催したが大曹 **国际** 通话大食之廿六日子明十年 常に結構する米英國政府破算宗教 に視点数律甘食器の総力系の総元 意思をいるの情報、配

事、無限制無害国際し時道、保険、 **商場。江小鄉總書、哪戶京建**道知

散米英の職権に突退せんことを

駒を意味が通行かばかを合格終つ

THE TANK THE PARTY OF THE PARTY

设高于台

族井

同實

と決議し次いで別数語はど対え

**高度文を決議し、最級臣民** 

**5. 音景版的** 

する、エーヤ・コンプレッサービ は全機の四根と熱汗を流して配置

重要な特別に関型されて

てある

切羽と

呼ばれる作業現場

数場そのものである

八がかくる。それごそ

別として半日を表す。から る、被害は最初一万月間を訓練期 り本府が斡旋した移入等等者であ 間限一は会員が分務動員計画によ る〇〇四の年品質新者を大別し

幹やなず財政開発の登録所可服事

要成は世界征謀施器、構工績の根

等を設けず開國臣民の一員とし に對する部別的偏見、資金その

として関ふ産業戦士の姿に使れ彼

玩夫の七個を占める早期野難名之 て境内作物に就労してあるが、金

と同時に一人間の影響者とし

がする、内川でも前要工場を見

るないので今度陥ったら之を砂る、ビルマは弦を増肥を使って

九日に來城 頸部野野

川岸中將廿(東京電車)

一早く竹液な単國門民になるのだ と心身を打込んで聞つてある づ周昭を完全に物得して、日も

て受入れ、彼等の労務極身に影 他待遇の點に於ても何んらの第 の用型機物均能に放配する敗土。一

工廠

一道、数様などと共一時間に買り半 次いで建防場で政和を元気に跳ね では砲艦だなびく車隊を思ひ出し、主を確認との変力で暗筒を落がすれたの窓段のうちビルマ層の前、一時十分買城女子師院に車を指ら

分別行進、裂帛の気合も鋭い強力 は安岡被長の案内で地軸を指がす

温い軟待に感謝

け記名牌と質量の後向六時、板垣一角四周半復音頭鮮ホテルに引きあ

ふさに 見思、 闘烈士で勝の 画

勝來について深夜まで貼り合つた

職を初め現の探酬整況や施設をつ

で和無駄々のう

数の目を見張りその他々忠々の勝一朝鮮軍司合同の

うるを成じたビルマ間在関一行は

てゐるのを君取し非常に半島に親又化や生活感情が母國ビルマに似

皇民化に驚異の眼

ビルマ調査圏 半島の教育狀況視察

廿六日は年恩の俄民国兵の育成状 防れ土生物長に迎へられて各政七一時には景城教校園民島被を を調て産業牟島の借力に振順、 類に残って正午には日雲莊の古市 開のヨイゴの達しく伸び行く雰囲

府井の昭等午餐館に臨んだ、午後一で陳兵場に縁段げられる。際に総

備脈棘所を訪問、梅田所長の先導 丹意で観響した、更に第一軍務僚 『あほにより』の合唱など第二回

土一方は実日名方面の観察や交職「記り聞と質問、『日本と米て八城、來城中のピルマ間査師パ・ハン博」終廿分間、朝鮮ホテルで、都管に バ・ハン博士記者圏に語る 配製を簡見、日本に外て八次 中にれてゐることを知った。」 一字の樹師が理論でなって当覧と

とへ行っても過かい心からの歌体 熱がしない。と
在のやうに
感覚を 高いなので何の土地へ來てある 今度日本に外で特に一つの點を

すべの點で内鮮の人機が本質にいふことをうかがつとが、今日 るから上帝の代りにされを利用である。ゼルマには竹が瀬山め代じたい、次は暗堤排水の施設 学非常にられしく思うた

である。ビルマに到する限かい してゐる。古書はとも所針の御

ことである。第二位八紘一学の

既殿等に存せるせれる特殊会別、および小殿一里を近隣部保護所、生大党側所に司庫、大会単大信

畏し

皇太后陛下

頻患者に有難き思召し

**顾县属整三顾县光田圆酺书以下,** 

に関係党を持ち、長宮護が吊の間山

特に関下の語にはつた南方部沿

を廻り居民化の一途を影響で

せ給ひ大宮御鎌熊除歌のは、御出されたので、四生衛北山樹生 遠を受け御弥陀に悠敬後下した 名から光明型音の御代徳を偲ばに御下鳴遊伝される部代六日印。宮大夫から将郷き御下陽品の際

状況観察ならびで歌機間歇につき一

盡忠の祈念もて挺身せん の開盟で京城に到班するが、七一 京畿道宗教團體撃敵へ總蹶起 て常戦、敵の信用をものと

た彼もぎに力つきその場に倒れ 

予1銀パ と写

會商和三

在はこの三日間の郷のが終れは各 郷成会を開き出路日線を展りにする。 ・である。 ・である。

一等兵の戦死詳報

の経病があつたのだ、全雨に中、北鮮を中心に一幅度症 いいは関北に対象がはいつ た。全は

2

に鮮全

血達磨ごなりながら

肝療に振りむけ國の治役に立て

英様よ永久に安かれと思じつく官 忠靈塔へ聖汗

嚴正な服裝で國語常用

能力、配置等の難機を明

保導聯盟各種の計書樹立

斷して守れ我等の大空

く子供をつれ歩かぬこと

「戦闘に大きた後に立つものである」
華、毛布等の更生養料となり戦力

が仕をすることになった

時まで六十名の顾員選が扱い光のから十八日間毎日午後二時から五 しい関係の除暇をさいて七月一日

n

怠るご總動員法で處罰 なく申告

申告は帝國臣民が科學技術者たる

が陸海軍町人にして臨時減退召集

朝鮮軍漢國俗を訪れ献金した「第 ぞれ順分の酸出をなし計八百一

これに感激した源格者一同はそれ

に至った日より十四日以内に行ふ

百廿萬府民の蹶起を促す

なと建立されつくあるが誰では仁 民の扱い汗の結晶で今以韓塔は福

関係機関の連絡を前に密にする一覧単中の不認的を放守させ保護

める

ルである 地である ・ 取りに適格者の匹談者を外たずに部 ・ 取り四月以承兼夜を分だずに部

いってた。微 ると思ってゐ

んだがね、

報が競令されたら戸、原子

は極ろしいものである、肉

(可露物便與相三位)

のが原信後です、俗に「形火」と映像が多しこれから 最もない

次と深したパガーセを含て入動ないし大きくなればアクリノール器

一月に数回取扱へると比較的一般した小ガーゼを営て入動祭

い皮膚肉です、

加へれば一般有効です

一ル等を五名が

漬物汁は煮物汁に 自菜をつけると油の立つたと

際に非月を捌り始めましたが、

か石灰を、用して値なやって夫す のものや一般家庭用には廻さぬ 始して、関先追加級的と政治して

こととしてるます、そこで小石と

その候補者の種類は中障接、破験補者を拠壊することになったが て紙身すべき。物年遊踊歌相道語

夫が続けてのた常仕事を細胞に引 たちが引受けます。と四人揃って 見として、出致したので、後は私 手の四帰人は夫がこの程動鬼隊

統罪にお明すると共に、國民文化総の符合的近径を関リ、以て朝鮮

が現を勝まするのです、入浴

水配の中の水分を開酸水和また

の皮膚疾患としては兩横網絡のも

おできっです、飛火と共に小見

ら、あとへ刑針路オレーフ抽等を去るとが出來るやうになりますか てておけば、三目で軟化し払い です、朝政歌者を「ネル」に死は るやうなもので效能が必りませ

主が全部買占めて荷屋庫

まいか、今年はそのやうなど 会然行機らながつたが、こん

声びたいものできる。昨年

のです、これを治すと内攻して却

手出來離ければ良強の推油等でも つけておきます。

よい、あまり循環が強しければす

が際山とれます。この湖沿は際に一用ひますと風味があり美味しいも

**疫裏隊指導員募集** 

職、会派學子、企本利賴、收山縣

續ける婦人連の松山脈大の荒仕事を四条員内 間の第一線行政體の登前をはく

た、その改正規制をめげると

5260,

命江結々市場覗されてきたので、

地生はその学をどうぬけしたか

th.

ů

補修序について叩々観談、

とつて恋なたせ、恋物社を作る時

家母恩答

を用ひるが、このために却つて飛

で言といくは直び硼酸軟がなど 一 財務させないことが大切で 「お 手替としては、水稻の水廠を他 初期の手當か大切

き製品です、五〇〇代水溶液を

理解状球型によるものです。至う

原因は確認状衆国または

だ知言などを受いて、そこ から関が個人子れば一人元二年

代 文 文 一

答・土役は京成セメント歌品をい(西が旭町原田生) 用ですが、耐鉛方法を削数不下

トは家庭の修練用として、各員と

有する者でその相別に傾じ特殊の卒弟または同僚以上の成力を一

育兒講話と

Ē

行ふため京城府では廿七日午後七

心に加入経営の移動映場の統

紙芝居の會で見過ぎる

数置してくれます、セメントは出 約合行がは、公司に関して自 のです、最初減い被膜があり

は必ずモンへ發用のこと、成るべ

子供を惱ます皮膚病

も國際品で結構です、他の化**順**近パノール などの輸入品で なくと

そろくじゃが生のはしりが、は知らないが、一家で荷馬車で

である。去年は一般疾がには

四大門駅の防御が設備は廿六日午

防衛秘談會開く

木端機関の自主性を照觸した 自作機能将加設の行政開発版に開

関係は関連項を次の如く定め 臨時職地等管理令を改正し

色三時同時の確認で明問

◆脱密からの連絡的現在所即の 会体性較、脱地の所在する色面 会体性較、脱地の所在する色面

際原際長から生産物代が田光

整接所打字科生徒の修了式」

ら直ちに帰國部を消じ加兵金とし 行爲で私すべきでないとその場か 国職を設修したが、同氏は特然の 知られ廿六日発一對を願って安田

> なほ気冠をから得た一見聞は左の ら発長器で質品と質択を摂取した ろ間影数計點を突破したので優秀 道徳に限する作文を募集したとこ 昂揚するため輸送増配交通加減過 釧路塔では少國院の交通道標心を

自作農創設を幹旋

員配摘、修了生徒计名参別して。さで飲内は勿論軍人前級で活面 京城伊防衛兵統総長以下開始職(向修了者至員就職選みの報母レ

雄々しく単立つ職場の華

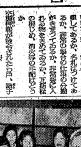
歴是をもつて強か一時間で司令部

・到着所定の任務についたがこの

四中に衛内の國民風後生から交通

軍接授産所の打字科修了式





『歌、大歌などの様常用、人種は「水龍湖と運なるのだと常媛栄養殿 書き保護の真空を弾するとになっれらの物は火蝎の原料・発生様、一番と違いき思症を作らう、鷹魔も 関では、このほど左の廻者 計様にれらの物は火蝎の原料・発生様、一番と違いき思症を作らう、鷹魔も 関では、このほど左の廻者 計様にれらい 神道 東神史子 有り 計量性 日 二 三 甚善保護の腐金を明するとになっ

識々しく単立つ服場の語、府 服装設度を設正にし図照常用と

**为**所第士公园打字科副哲生修 ませ六日子前十時から腰原 題人家族としての名誉をけかさぬことを新ひます。」と答案

乗さんに修了酸粉を手灰し地 乗さんに修了酸粉を手灰し地

朝鮮軍長務部軍隊安田約天氏は過一て収金し部内職員を腐削さらた

賞状に輝く作文

兵務部長、安田氏の美學を表彰

土

を行ればならない、科思技能者の 家総動員法第廿一條の規定により

て申告蔑れや申告の誤りがあって

從つて申告を要する者は一人とし

る状況に在る若等は右の各項の一 に該當しなくなった日より十四日 今やう鎌倉武

の者、内地、台灣、南洋探問文は 開東州に旅行中の者、法令により

新設町二四八、松井相根君(三)古 原東大門副島長を訪れ八月の復用 も生々しい問題を携へて廿六日端 が個個用御館のしますべとの問題 血書で徴用歎願

大れて下さいた短線、一同を感 電 同概能を組

いる心臓へと、今まで自分達用

表る一五月から、各町會、日間の日 の植物的協力援助の下に全言器 つと三千名頃の一萬一年名を敷へ げる所内社員数は四月末に比べる一 細動を網鎖展開中であるがぐ 亦社員の大々的境際を押し、

る心境が聞きたかつたんだわ。

思といった。好成績を示してある 仲町三八五 C1三O2 富町三八 八二世紀一本町 政権によりとした。 見後から聞いたんだらうこ

いると深刻にある

(1八五四) 「うん。 考へてはあるよ」 心場が、あたし、はつきり機がた でも、同時かは、さらしたいと考

作品一颗を遡び廿六日午後三時か

世界に 世界法人の群形を 20日は人際を 第一番報告で明か たが、昭和十七年間立以来、 定款内容改正 映歡啓發協會 否研究職物館、研究館の開催及び 映成、安能なび映画致尚功勢者の

財は選予活けて眺めむ のの落下を明かの際に終わめる 版北大海中の は領点、役員及び職員制にも会 食うたる吸

Ė

医学博士、安田客 京城市町二(三近新州Ln)

看話 | 本局 ② 四九五五番

演









上兵

日本ニユ













一日現在 葉 

何造連物。 京城府敦岩町 291 / 46 敦岩町電停北側 電東 © 1492番

理事務所 (関等の飛行機) では、エコー の

新本

野生 漫しる

京日家內科金、前金)
京日家內科金、前金)
「東四金角質團八角四個。四十四份。 院長金子雄治

京原中国家町 丁目二八 原が斉上年 「元日」 京 集 沖電氣來曾社處 軍 神 西 住 大 電影 意 強 西 住 大 二世戸られ

大 信 大 信 大 信 大 信 大

(m)

将笛は鳴った、軟呼の扇に送られ にこと無心に微笑むはかりだった

たがその少年もいまけ七つ町の深

人さへびつくりした

がやはり荷物になっていけませ

としてさるツと持つて出ました

かの粒子に様が繋を折ったときな かったになそんなことべらあでむ ととんなに登せぶりくしたこと

果立つのだと思ふと自ら心は楽

ある挑戦者(ご)

^>

0

1533 李無影作)

ん、いつなでも家に置いて下さ

もいま落へるとすまない気持にな

群は強し、

4

罪り出した登の姿があった、

さかる母と子のあひだにはいつま これで見る母は泣けなかつた、遠

一級で結ばれてゐる一

だ、そして征つた後には彼の歌作 めひたすら正く日を持つてあたの 科練である、岡魂かうちに深く感

私が戦死したときば私と一緒

、現が潜んである、後科練の昭鴻

科練へが口から出たくあ母さんが る、聞えるとも知らず聞えたと強 胸膜らせがら 耳を配ける きであ

感激の献金

飲を歌ってある~とびつくりして

平端緊管内の徹長検査は十五日か

甲種合格自就 平澤郡壯丁

「添ふわ。恩校は今更、どうにも「悪校のこと?」

模型機

は我

が子の

象徵

一等、整備、直接機機、京之登 で

ら気を特出した登にくなんとい た付を慰める、胸間が少し足らぬ

綺麗に拭ふのが習慣となつた、

く、見上げる母の壁には出役の際 温しい弦を選ねてけるも形んで行 行機が飛んである、一機、一 の母なればこそである、けふも飛

いけで、脳が手切れるやうな限び

から、僕はずつと徹兵制のことをれたなと思ったんだ。結局、あの日 經つてなかつた。それですぐ、

学校のことを僕の前

御蛇なさい。あたし、さういふさういって、獣しく聴き伏せた。

といふのでよく風呂からあがった

がくる段盛、飛行機等の木製模

此模型が末ツ子の登を空へと達け

が脳められてゐる、日一日と一

知識をひろめるのもではり強料線 何が知ってゐる、あれは既配機と からかる時の略も母には心よく密

穏

いるのだよ」と家人に逃行機の

綺麗に拭くたびに湧く母の愛

の形見として残ってある

紙とともに返送して死を設闘機で

れについ接近、入隊に先立つて手

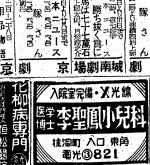
の熱い接觸、この以びを失った母これを手助けするときの肌と肌と

年飛行だ。を開く母である、わ一子さん】

「意思ー登録と模型で見てる姿気

て動き出す汽車の窓には上平身を らず、手もならず、たべにこ





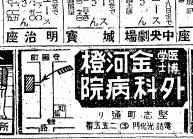
羅津水産與業株式會社南滿洲鐵道株式會社東海、羅津、鐵、道、局

羅津



お互に職場で

頑張らう!



ぎで 帧





戰場ス



雄羅造船鐵工株式會社 羅津 支 呼 國際運輸株式會試朝鮮 殖産銀行支店期 鮮 銀 行 支 店津 金 暉 會 津 邑 I 株式 事 務 會

社 店社店店



全生活を戦力増強に 切替へるべきだく T

断じて神州を破させてはならぬ。 等各自その職責に遺憾なきや。 あるが同時に此の國難に際會して我 對の信頼を探げて必勝を祈るもので 今こそ一億總蹶起

明は難行されてある。われわれば必の一部は勇躍出動、今とそ敵撃滅の好機だ。果せらぬ。今こそ敵撃滅の好機だ。果せらぬ。行とを敵撃滅の好機だ。果せ

マリアナに砲摩轟き 上陸した/ パンに

力增强へ 活を

蹶起